

## 第24回全国スカウトフォーラム（2022年度）概要報告

2023.01.07 現在

### <開催趣旨>

スカウト運動の原点である「スカウトたちの声に耳を傾け、その意見をスカウト運動に反映させていくこと」を实践し、「青少年の意思決定への参画」がより推進していくことを願い、全国スカウトフォーラムを開催します。

スカウトフォーラムでは、スカウト個々が自己の成長をはかり、幅広い社会性を身につけ、相互の理解を深めるための貴重な機会が提供されるように開催します。また、フォーラムでの討議が参加者のみならず広く共有されるよう、参加スカウトの気運を高め、各県連盟へフィードバックができることを目指します。

今年度は、オンライン会議システムを活用した事前集会和、新型コロナウイルスの感染対策を行いながら対面で開催しました。



第24回参加章デザイン

### 1. 期 間

事前集会： 2022年12月17日（土）17:00～19:30

フォーラム： 2022年12月24日（土）～26日（月）2日3日間 ※ 冬休みでの開催

### 2. 会 場

川崎市青少年の家（神奈川県川崎市宮前区宮崎105-1）

団体での宿泊研修を通じて社会性を身につけ、情操を豊かにし、心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的とする社会教育施設です。



### 3. 参加者

県連盟代表 41 県連盟 41 人

県連盟からの参加推薦の後、本人および家族の体調を考慮した参加辞退の連絡があり、上記の参加人数となりました。

### 4. スタッフ

全国スカウトフォーラム運営委員会 10 人、日本連盟プログラム委員会 5 人

本フォーラムは、日本連盟プログラム委員会による大枠の検討を行い、当日の運営やグループファシリテーターを務める「全国スカウトフォーラム運営委員会」を、過去のフォーラム経験者を中心としたローバースカウト年代のスカウトおよび指導者から公募し、事前の準備と当日の運営を行いました。

### 5. 開催方法

事前集会：オンライン会議システム（Zoom）にて開催、画面上でグループごとに県連盟の取り組みを共有

フォーラム：4年ぶりに対面での開催、県連盟の代表スカウトのみが参加、オブザーバー参加は無し

開会式は遠隔地から総コミッショナーのメッセージを送っていただき、最終日の全体会の様子は当日参加できなかった代表スカウトに動画配信を行い、遠方での視聴を可能としました。

### 6. 主 催

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

### 7. テーマ

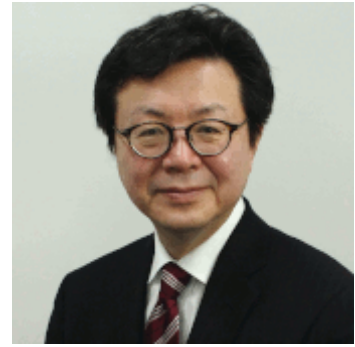
「新しい100年に向けてスカウトは何をすべきか」

第1回シニアスカウトフォーラムで『より良い社会を目指して、スカウトは何をすべきか』について討議されたことから、「スカウトの日」は始まりました。100周年を迎えるこの年に、私たちが継続して取り組む奉仕や地域貢献の形について考え、これから始まる新しい100年のスカウト奉仕の在り方について考えることをフォーラムの目的として開催しました。

8. 協 力： 関口 昌幸氏 (せきぐち よしゆき：神奈川県・横浜市政策局共創推進課担当係長)

2012年から横浜市政策局政策支援センターにて、「市民参加型の課題解決の実現」「地域経済の活性化」のためにオープンデータ活用を推進。行政が保有するデータとNPOや企業など民間が持つ情報をマッシュアップすることで、社会課題や市場ニーズを可視化し、課題解決のために産官学民が主体的に参画し、連携するオープンイノベーションの仕組みづくりを行ってきました。

現在は、同市政策局共創推進室にて、子育てや介護分野におけるオープンイノベーションの取組を推進すると共に、市民と行政、企業が共創的に地域課題を解決し、事業を創造するためのローカルプラットホームとしてリビングラボを市内各地で展開しています。本フォーラムでは、事前集会での基調講演とフォーラム当日のグループワークの展開をお願いしました。



9. スカウトフォーラム宣言

**「時代とともに変化する課題」を解決するうえで、活動の目的を明確化しよう**

<アフターフォーラムの取り組み>

今回のスカウトフォーラムにおいても、全国一律で実施するようなアクションプランはその場では採択せず、スカウトの所属する県連盟や地区、団などそれぞれの地域でフォーラムでの検討事項を具現化した活動につなげていくことを願い、参加者全員で「スカウトフォーラム宣言」として採択しました。

本宣言の趣旨や意図を所属地域のスカウトに伝えていくために、代表スカウトが主体となり、本フォーラムの報告の場としてアフターフォーラムを開催し、検討した背景や採択された経緯などの説明のほか、アクションプランへの取り組みに繋げていただくことを期待して本フォーラムを散会しています。

なお、次年度(2023年度)事業として、アフターフォーラムの実施状況を報告し合う場を設定する予定(対面やオンラインなどの実施形式は未定)です。



## 11. 期間中の様子

### (1) 事前集会

期間：12月17日（土）17：00～19：30

本番一週間前にオンライン（Zoom）での事前集会を開催し、フォーラム本番のグループ編成の確認とグループメンバー間の県連盟内の取り組みの共有を行い、当日に向けたグループの醸成を行いました。

基調講演は、神奈川県横浜市で行政の立場から地域課題に取り組む関口昌幸氏から、横浜市を一例として世の中のさまざまな地域課題をご紹介いただき、フォーラム本番に向けた下準備を行いました。

### (2) フォーラム1日目：12月24日（土）

#### ①開会式、アイスブレイク

全国的な悪天候により一部の集合に影響が出ましたが、会場となる川崎に代表スカウトが集合しました。開会式では、村田総コミッショナーよりオンラインでスカウトへのメッセージをいただきました。

その他、オンラインで参加するファシリテーター担当のローバースカウトを含めたフォーラム運営委員会の紹介や、会場施設のオリエンテーション、スカウトの緊張をほぐすためのアイスブレイクなどを行い、初日のプログラムに入りました。

#### ②ワークショップ

基調講演でご登壇いただいた、横浜市政策局共創推進課担当係長・関口氏にワークショップも引き続いて担当いただきました。基調講演で紹介した地域課題の課題解決に向けた取り組みを受けて、代表スカウトたちは課題解決に対する取り組みの深堀りの方法、普段の自分たちの活動で起こりうる課題に対する原因追究や課題解決に対するプロセスについて体験しました。

各グループにて、自分たちの地域に置き換えたときの課題、そしてその課題に対する解決策について、成人指導者や周囲の状況を理由にして考えることをストップしている状況を認識して、その課題の本質、課題解決に向けた深堀りの重要性について理解しました。



(3) フォーラム2日目：12月25日(日)

①ワールドカフェ(県フォーラム発表)

各グループの代表者による県フォーラムの発表として、グループの代表スカウト以外が発表者のブースを順番に訪問するワールドカフェスタイルで行われました。各県で実施したフォーラムの成果を参加者全員が共有し、地域ごとの状況や課題、また共通する問題や取り組みなどを把握することに努めました。

②分科会

昨日のグループワーク、直前の県フォーラム発表を受けて、視野を大きく広げたスカウトは分科会において、テーマである「新しい100年に向けてスカウトは何をすべきか」について討議を進めました。

全国の異なる状況の中でも共通のメッセージや同じ価値観を共有するため、全国それぞれの地域でスカウトがやりたいことを進めていけるよう、企画から報告までの各プロセスをいかに取り組んでいくのがよいか、議論しました。今までに悩んできたこと、うまくいったこと・いかなかったこと、困ったことなどを共有して、その困難をいかに乗り越えたのか、考えを深める時間となりました。

③分科会まとめ議長団選出/世界フォーラム報告

6つのグループごとに討議した内容を大きく3つのグループに統合して、それぞれ話してきた内容を共有、そこから得られた課題とその解決方法を整理しました。その後、各グループを代表して議長団を選出し、グループ内で話し合った内容をもとにした「フォーラム宣言」の素案を作成しました。

また、その他のフォーラムの紹介として、2年前の世界フォーラムに参加したローバースカウトとオンラインでつなぎ、国際イベントとして、またローバー活動の面白さや活動の広がりについて理解しました。

(4) フォーラム3日目：12月26日(月)

①全体会/閉会式

分科会で話し合ってきた各グループで話し合ってきた内容をもとに、フォーラム議長団が中心となって作成した採択事項の原案をもとに、代表スカウト全員の意見が反映されたフォーラム宣言の採択を行いました。

議長団議長より、日本連盟の川瀬プログラム委員長に対して、採択した「スカウトフォーラム宣言」を提出し、委員長からは本フォーラムの講評と今後の日本連盟行事や施策に反映させることが話されました。

以上

